

## 令和5年第12回大仙市教育委員会定例会議事録

令和5年第12回大仙市教育委員会定例会を令和5年12月22日(金)午後3時30分から大曲庁舎3階大会議室において開催した。

### 出席者

教育長	伊藤雅己
委員	小笠原晃
	玉井有紗
	中島康
	伊藤勝良

説明員	事務局長	山信田 浩
	次長兼教育総務課長	小松 大
	次長兼教育指導課長	藤原 秀一
	施設管理課長	高橋 隆伸
	学校給食総合センター所長	佐々木 満智子
	生涯学習課長	八嶋 洋晃
	次長兼総合図書館長	伊藤 ひろみ
	次長兼総合市民会館長	品川 雄喜
	主幹兼教育研究所長	木元 真一
	花館公民館長	枝川 元
	中仙公民館長	大阪 文博
	協和公民館長	阿部 成吾
	南外公民館長	佐藤 マキ
	仙北公民館長	竹村 智子
	太田公民館長	草 彌晶子

事務局	教育総務課参事	堀川 あずさ
	// (書記) 教育総務課主幹	須田 崇

付議案件 なし

伊藤教育長

皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

ただいまから、令和5年、第12回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

本日は、高見委員から欠席の御連絡が入っております。定足数は満たしておりますので、会議は成立いたします。書記に、須田主幹を指名します。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。

本格的な冬の訪れを実感する毎日となりました。市内の小・中学校は、12月26日から冬休みを迎えます。学校におけるインフルエンザの流行もなかなかおさまらない状況が続いていますので、引き続き感染症の予防や冬道での交通安全に努めてまいります。

さて、第36期竜王戦について、対局は実現しませんでした。藤井聡太竜王をお迎えして、様々な祝賀イベントが開催されました。将棋に関連するイベントということで生涯学習課が主管する事業として準備を進めてまいりましたが、関係団体や関係各課との連携、協力のもと、大きな混乱もなく無事終了することができました。藤井竜王はじめ関係の皆様からもたくさんの感謝の言葉をいただきましたし、行く先々での多くの市民のみなさまの熱烈な歓迎を目の当たりにし、安堵するとともに熱いものがこみあげる2日間となりました。旧本郷家はもとより、本市の伝統文化や特産品、勝負飯メニューなど、様々な方面から本市の活性化にも寄与できたのではないかと考えております。この明るい流れが少しでも長く続くよう、今後も関係団体や関係各課と連携しながら対応してまいります。

それでは、報告の1ページをご覧ください。

最初に学校教育関係です。小・中学校は、12月26日火曜日から1月13日土曜日までが冬季休業となります。曜日の関係で、実質、1月14日日曜日までの休みとなります。また、教職員の業務改善のために、冬休み中、年末年始休みに加えて、平日3日間の閉庁日を設けるよう県教委から要請を受けておりますので、本市では12月27日・28日、1月4日を学校閉庁日としております。したがって、12月27日から1月4日まで学校が閉鎖されることとなります。

特色ある教育活動については、各種大会等での児童生徒の活躍を記載しております。秋田県学習状況調査が12月6日・7日に行われております。結果は、1月末以降にまとまる予定です。大仙ふるさと博士、グローバルジュニアの市長表彰を行っております。ふるさと博士とグローバルジュニアについて、100ポイントを達成した児童生徒が市長より直接表彰されております。ふるさと博士育成事業の冬バージョンの企業体験、農業体験がこの後実施の予定です。

研修につきましては、大仙仙北地区租税教育推進協議会会長として太田中学校で行われた租税教育に関する研修会に参加しております。

社会教育関係は、冒頭申し上げましたとおり、藤井竜王の祝賀イベントに出席

しております。また、コミュニティスクールを推進しておりますが、なかなか自分の目で確かめる機会がなかったことから、12月26日の太田地域の研修会に参加する予定です。

市長部局等との連携行事については、記載の通り出席しております。

安全・安心について、最近はやや落ち着いてまいりましたが、前回の委員会以降、8校が学級閉鎖等をしております。

その他として、市議会の定例会で一般質問が行われましたが、教育委員会に対する質問はありませんでした。

以上で私からの報告を終わります。

次に、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきます。

今回も各地域の公民館長はテレビ会議システムを利用しての報告となります。まず、教育総務課長、お願いします。

#### 教育総務課長

2ページをご覧ください。

教育総務課は2項目記載しております。

1番の大仙市議会定例会についてであります。今週火曜日、12月19日に閉会いたしました。教育委員会事務局関連の令和5年度補正予算案について、全て承認をいただいております。

教育総務課は、以上です

#### 伊藤教育長

次に、教育指導課長、お願いします。

#### 教育指導課長

2ページをご覧ください。

教育指導課は9項目記載しております。3項目について、ご報告申し上げます。

3番の学習状況調査であります。12月6日に小学校4、5、6年生、7日に中学校1、2年生で実施しております。なお、横堀小学校4、6年生はインフルエンザでの学級閉鎖のため、14日に実施しております。

5番の第51回マーチングバンド全国大会であります。12月9日さいたまスーパーアリーナで開催され、大曲中学校吹奏楽部が見事金賞を受賞し、大曲小学校と花館小学校のマーチングバンドは銀賞という結果でした。このあと1月11日に大曲中学校吹奏楽部が教育長報告の予定です。

6番のふるさと博士・グローバルジュニアマイスター市長表彰であります。12月12日にここ大会議室で行われ、小中学生27名がふるさと博士として、3名がグローバルジュニアマイスターとして表彰されました。

教育指導課からは以上です。

伊藤教育長

次に、施設管理課長、お願いします。

施設管理課長

施設管理課からは、工事の進ちょく状況についてであります。

現在、トイレ、高圧受電設備、エレベーターの各改修工事について、あわせて8つの小中学校で施工中となっておりますが、それぞれの施工業者によるスムーズな工事進行により、ほぼ計画どおりに進んでおります。今後、学校の冬期休業にあわせ、集中的に施工継続することになりますが、引き続き安全で円滑な施工に努めてまいります。

以上でございます。

伊藤教育長

次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長

学校給食総合センターは、記載の2項目となっております。

12月13日に大仙市学校給食協会第3回理事会が行われ、協会より令和5年度中期4ヶ月の業務執行状況について、事業計画に基づき、順調に実施している旨の報告がありました。また、各給食センター所長から、それぞれのセンターの状況について、理事のみなさんに報告してまいりました。

学校給食総合センターからは以上です。

伊藤教育長

次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長

生涯学習課の行事は、3項目となります。

その内、1番の竜王戦関連行事についてご報告いたします。

先程、冒頭で伊藤教育長からもご報告ありましたが、12月6・7日に予定されておりました竜王戦大仙対局であります。11月10日から11日に北海道小樽市で行われました竜王戦第4局において、将棋の八大タイトルを独占している藤井聡太竜王が挑戦者の伊藤匠七段を相手に勝利し、圧巻の4連勝で防衛したため、残念ながらここ大仙市での対局は実現いたしませんでした。市ではそうしたことを受け、藤井竜王を大仙市へお招きし八冠達成と竜王防衛の祝賀イベントを12月5日から12月6日の日程で開催いたしました。藤井竜王は、12月5日の午後2時半頃に大仙市入りし、はなび・アム、それから地元小・中学生からのお出迎えもありました旧本郷家住宅を見学後、18時から山の手ホテルで開催した祝賀会に参加していただきました。また、12月6日

には、大綱交流館や櫛岡陶苑などを巡り大仙市の良さ・魅力を知っていただいたのち、エンパイヤホテルにて対局時に食べる予定でありました、幻の勝負めし・ドリンク・スイーツの3品を味わっていただきました。その後、午後からはJR大曲駅でスイッチバックする新幹線こまちの出発式や、雪国ならではの車両であります投排雪保守用車の運転なども体験され、13時39分の新幹線でお帰りになりました。この2日間の様子は各報道によって取材映像等として全国に発信されており、将棋の普及拡大はもちろんですが、秋田県大仙市を大いにPRできたものと感じております。なお、資料1として、今回の藤井竜王大仙市来訪の様子を記事にまとめたものをお配りしておりますので後ほどご覧いただきたいと思っております。この記事は市広報1月号に掲載予定で未定稿のものとなりますので取扱いには十分注意していただきたいと思っております。

生涯学習課からは以上でございます。

伊藤教育長

次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長

総合図書館は2項目掲載しております。

1項目目のクリスマスおはなし会ですが、いつものおはなし会とは雰囲気を変えて、クリスマスの飾り付けをした部屋に、事前に準備したクリスマスプレゼントが足りなくなるくらい会場いっぱいの方に来場いただき、おはなしを楽しんでいただきました。

2項目目の図書館見学は、11月30日に予定していた図書館見学が延期となったことによるものです。読み聞かせの時間には、SDGsに関連した絵本の読み聞かせをしたほか、大曲図書館内にある本を3冊ずつ借りていただき体験もしていただきました。

総合図書館からは以上です。

伊藤教育長

次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長

総合市民会館は、4項目記載しております。

4番につきまして、明日の土曜日2時よりオペラをつなぐ仲間によるクリスマスの夕べを3年ぶりに大曲市民会館小ホールで開催します。プログラムは第1部がクリスマスキャロル、第2部がオペラ「アマールと夜の訪問者」の構成で是非御鑑賞いただければと思います。

以上でございます。

伊藤教育長

次に、花館公民館長、お願いします。

花館公民館長

花館公民館は、7項目を記載しております。

1つ目となります、角間川物語パートⅢ地域カレンダーになります。パートⅠの歴史書、パートⅡの後世に残しておきたい思い出の写真集に引き続き、今年度は、地域カレンダーを作成し、角間川地区に全戸配布しております。今回のカレンダーは、角間川の四季を題材に、これまで地区で長く受けつがれてきた行事の厄払いぼんでんや角間川盆おどり、中学校の卒業式や小学校の入学式、何気ない日常の風景などに焦点をあて、昨年カメラに収めたものの中から選んでおります。来年度は、角間川の魅力を再認識して頂きたいと思いから、歴史散策マップの作成を考えております。

花館公民館は以上です。

伊藤教育長

次に、神岡中央公民館長は欠席ですので、生涯学習課長お願いします。

生涯学習課長

神岡中央公民館は4項目記載しておりますが、すべて毎月定例の事業であります。

神岡中央公民館からは以上です。

伊藤教育長

次に、大綱交流館長は欠席ですので、生涯学習課長お願いします。

生涯学習課長

大綱交流館では、3つの項目を記載してございます。

内容は、記載のとおりでございますが、

1番の刈和野大綱引保存会役員会を12月19日に開催しております。16人出席予定となっておりますが、当日は15人に出席いただきまして、国指定重要無形民俗文化財、刈和野の大綱引きの日程について、例年どおり令和6年2月10日土曜日に開催することが正式に決定しております。その他、1月26日金曜日に小・中学生、高校生が参加する綱よい作業、翌日1月27日土曜日に綱飾りを行うなどの日程が決定しております。今では、小・中学生、高校生に協力していただかないと大綱を完成させることが困難となっておりますので、今後も西仙北小・中学校、西仙北高校と連携しながら伝統文化の継承に繋げて参りたいと思っております。

大綱交流館の説明は以上でございます。

伊藤教育長

次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長

中仙公民館は、記載の2項目のとおりです。

1番の宝くじ文化公演ですが、ドンパル開館20周年記念事業とし、12月3日、ほぼ満席の522人の観客をお迎えし開催しております。NHK交響楽団団友によるオーケストラと東京芸術大学出身のメンバーで結成された混声合唱団による歌とスペシャルゲストとして歌手の由紀さおりさんの歌を楽しみました。大変盛況に開催することが出来ました。

中仙公民館は以上です。

伊藤教育長

次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館長

協和公民館では12項目記載しております。

それ以外に、文化財保護協会協和支部と京都研究学部や合貝集落による文化財講演会を開催しました。12月10日に合貝集落会館と12月13日に和ピアにおきまして、合わせて50名ほどの方が参加しております。

協和公民館からは以上です。

伊藤教育長

次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長

南外公民館は3項目あげさせていただきましたが、

1番の料理教室は、12月3日に南外公民館で、コロナ禍と同様にそば打ちを行っております。以前の料理教室では、大勢のグループで、いっしょに何品か作り、試食も行っておりましたが、コロナ禍では、家族などと2～3人のグループで、打ったそばを自宅に持ち帰ってゆでていただくというスタイルで実施しておりました。そば打ちですから、加熱する食材ということで、お一人でお申込みいただいた方々にも対策をしていただいたうえでご参加いただいております。苦肉の策でしたが、参加者からは女性や男性だけの料理教室も楽しいが夫婦で参加できる機会は少なく、うちに持ち帰って家族と一緒に打ちたてのそばが食べられるのもうれしいと好評だったため、コロナが5類に移行した今回も同じように実施しました。今回、初めて公民館行事に参加していただいたご夫婦からも、また参加したいとお話しいただいております。今後も、ただ以前の事業に戻さず、これを機に事業の在り方を検討してまいります。

南外公民館からは以上です。

伊藤教育長

次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長

仙北公民館7項目挙げております。

二つ目の、親子で Book&Cook ですが、4歳児から小学校低学年の児童とその保護者を対象とした、クッキングと読み聞かせを合わせた新規事業であります。クリスマスを楽しもうというテーマのもと、親子でマフィンやクッキーのお菓子作りに挑戦してもらい、焼きあがる時間を活用して、読み聞かせをするというものでした。当日は、お家の人と一生懸命に混ぜたりこねたりし、出来あがった時の嬉しそうな顔は格別のようにでした。家では子供が元気すぎて、一緒に作ろうと思いついては至らないため、このような機会はありがたかったという声や、一方では、クリスマス前にもう一度作ってみようかと話されている親子もいました。市民に対して、いろんな体験や機会の提供、きっかけ作りの場を提供していくことの大切さに改めて気づかされた事業でありました。

以上です。

伊藤教育長

最後に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長

太田公民館からは5項目掲載しております。

5番の太田地域コミュニティスクール連携協議会研修会 についてご説明します。太田地域4つの小中学校のコミュニティスクールの代表の方、地元の高校であります大農太田分校、認定子ども園関係者、太田支所職員、PTA関係者や各学校の先生方が参加し、ワークショップ形式での話し合いの手法として、熟議を行います。今回は、県生涯学習センターさんの協力をいただく予定です。研修の内容は、太田の子ども達に私たちが伝えたいことをテーマに、コミュニティスクールの役割を関係者全員で再確認し、これからの太田地域の教育活動を一層充実させることを目的に開催するものです。参加予定は64人と記載しておりますが、現在70人ほどの参加予定となっております。

太田公民館からは以上です。

伊藤教育長

以上、各課・所・館から行事・事務事業報告をしていただきました。

ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

よろしいですか。それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。

今回は付議案件がございませんので、続いてその他に入ります。

全国学力・学習状況調査についてについて御報告いたします。  
教育研修所長お願いします

教育研究所長

R5年度の全国学力・学習状況調査の結果についてご報告いたします。

はじめに、教科に関する調査結果につきまして、資料ナンバー2をご覧ください。中段のグラフでお示ししているとおり、平均正答率につきましては、国語では、小学校、中学校ともに全国の平均正答率を上回っているが、やや県を下回っています。算数・数学では小学校、中学校ともに全国や県の平均正答率をやや下回っています。中学校、英語では、全国や県の平均正答率を下回っています。設問は、問題解決の場面の中で複合的な思考力や判断力を測るよう文脈が設定されており、情報量が多いことへの苦手があるなどの原因が考えられますが、今後、県調査の結果も踏まえて詳細に分析をおこなって参ります。

2枚目の資料をご覧ください。教科・領域別にみますと、小・中学校に共通して国語の「話すこと聞くこと」の領域が本市の強みであると捉えられます。これまでの各小・中学校における「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した課題解決型の授業づくりは、国語を中心に児童生徒に学力を付けてきていると思われ、課題が見られた算数・数学、中学校の英語について、本市の強みである「話すこと、聞くこと」の能力を生かし、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組の一層の充実を図りたいと思います。そのために、ICT機器を効果的に活用した授業づくりも推進しながら、個別最適な学びと、協働的な学びの実現を目指した各校の取組を支援していきたいと思っております。

次に、児童生徒質問紙につきましては、挑戦心や自己有用感といった児童生徒の心の面、地域や社会への関心、ICTの活用、家庭学習の習慣の4つの分野について考察しております。心の面については引き続き良好な状況にあるといえます。地域行事への参加につきましては引き続き全国平均を大きく上回っていますが、県平均はやや下回る結果でありました。ICTの活用については、全国平均と比較し、特に中学校での活用が進んでおり、今後は小学校での効果的な活用が更に推進されるよう取り組んでいく必要があります。参考までに昨年の調査結果を調べたところ、活用の機会が大きく増えていることが分かりました。家庭学習の習慣については、進んで学習している様子が見えませんが、勉強時間や読書の時間が県平均を下回ることから、児童生徒の家庭での過ごし方についても目を向ける必要があります。

最後に、学校質問紙についてご説明します。ICT活用、小中連携、家庭や地域との連携について考察しております。ICT活用については、全国や県を上回っている項目が増加いたしました。大型提示装置等の活用、児童生徒用タブレットの活用が進んでおり、情報の検索のための活用以外にも、考えをまとめ、発表・表現する場面でも積極的に活用していることがうかがえます。小中連携については、引き続き良好な状況にあるといえます。全国平均、県平均と比較して、

高い水準で小中連携の取組が行われており、本市の大きな強みであると考えます。家庭や地域との連携についても、引き続き良好な状況にあるといえます。昨年度は小学校では秋田県平均を下回り、中学校では上回るか同程度でありました。今年度の調査結果では、小・中学校ともに家庭・地域との連携が充実してきていることがうかがえます。今年度の全国学力・学習状況調査の結果についての説明は以上です。

伊藤教育長

この件について、委員の皆様からご質問等ございましたらお願いします。

小笠原委員

質問というよりは感想になるかと思いますが、小中の連携、地域の連携、ICTの活用等、非常に本市進んできておりますけれども、それに伴う児童生徒の成績の方に若干まだ伸びが見られないというところでは、特に、算数・数学は秋田県全体も前々から課題にされているわけですが、やはり本市としては、今回英語の学力という点については、皆さんで考えていかなければいけない課題ではないかなという感想を持ちました。

伊藤教育長

英語は昨年実施されなかったもので、そうした点も含めてお願いします。

教育研究所長

担当指導主事と問題について検討いたしました。問題の難易度について大きな変化はないと思われませんが、話すことに関しては、今年度、児童生徒用の端末を使いまして、コンピュータを使っての調査となりました。問題文が読み上げられる英語の発話スピードが上がっている。それから、短時間で要旨を掴みづらくなったというような問題の傾向があるそうです。また、制限回答時間がカウントダウン表示されたため生徒は強いプレッシャーの下で対応する必要があるなど変化があったようです。読むこと、書くこと等も前回の平成31年度の調査よりも実力を発揮しきれなかったという結果になっておりますけれども、総じて、長文の理解であるとか、そういった情報量の多い中での対応に苦手意識があるのではないかと思います。教科書の文章であるとか、一文一文を丁寧に扱っての学習は本当によく進められておりますが、初めて触れる文章であるとか、長文であるとか、そういったところに今後の課題があるのではないかなというような分析しております。書くことについても、文法やスペルなど正確に書くことが求められるわけですが、こちらの方は話すことや聞くこととは別に指導者側が綴りの間違いがないか、文法の間違いがないか一人一人書いているものをチェックするのに大変時間が掛かり採点に時間が掛かることということで、そこへの対応が今後の課題になると分析しております。ALTにも文法の正確さよりは

コミュニケーションのスムーズさを求めて指導にあたっていただいていたのですが、こういった調査に関しましては、文法の性格さを求められるので、そういったところA L Tとの連携を取りながら指導を進めていきたいとの話がありました。

伊藤教育長

色々な課題が考えられるということですね。

小笠原委員からもあったように、2枚目を見ますと比較的良好な中で、1枚目の教科のところで苦戦しているというのが、非常に我々も悩ましいところです。いずれ、全県の学習状況調査もありましたので、その結果も踏まえ、両方見ながらという風に思っております。経年比較も中3は前回やっていない、小6でやっていない、そのところ少し説明をお願いします。

教育研究所長

経年変化についても確認しておりますが、今年度の中学3年生は小学校6年生の時に、令和2年コロナ禍で調査の中止がございましたので、その時に実施しておらない学年でございますので、若干、経験という意味では少し負担が掛かったかなという風には思っております。

伊藤教育長

そうは言いますが、全国も県も当然そこは同じ状況ですし、ICT関係やその他も基本的に同じような流れになってますので、個別の学年特有のものなのか全体的に何かあるのか、この後分析して対応して参ります。

その他について、この機会に委員の皆様から何かございませんでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

よろしいでしょうか。

では、教育総務課長から次回の日程等についてお願いします。

教育総務課長

次回定例会は、1月26日金曜日午後3時30分から、こちら大会議室で開催したいと考えておりますので、ご都合方よろしくお願いたします。なお、来年の日程案として資料ナンバー3をお配りしておりますので、後ほどご確認をお願いいたします

私からは以上です。

伊藤教育長

次回定例会は、1月26日金曜日、午後3時30分から、ここ大会議室にて開催、としての提案です。皆様、よろしいでしょうか。

各委員（特になし）

伊藤教育長

では、次回定例会は、そのように予定いたしますので、よろしくお願いいたします。

なお、この後ここで協議会を行いますので、委員の皆様と関係職員以外の方は御退場をお願いします。

以上で、定例会を閉じます。

本日はありがとうございました。お疲れ様でした。